

報告内容等についてのご質問・ご要望に対する回答

		ご質問・ご要望	回答
星空舞 有機	①	費用面でどのくらいメリットがあるかわかるとうれしいです。	費用は、資材によっても異なりますが単年の施用では、化成肥料を用いた場合と同程度になります。鶏糞を利用する場合は、資材代が安くなる場合もございます。有機物の施用は、肥料以外に土づくりとしての効果を期待できますので、長期的な利用では地力向上などによる費用削減が期待できます。
技術伝承	①	マニュアル等いただければたたき台に使用できると思うのでデータがあるとうれしいです。	近々、「熟練者技術伝承の手引き」や農業試験場が作成したマニュアル例を農業試験場ホームページにて共有させていただくため、是非ご参考になさってください。
	②	マニュアル作成に取り組んでみたいと思った。	コメントいただきありがとうございます。今後、作成においてご不明な点がございましたらお近くの普及指導機関にお尋ねください。
はれごころ	①	はれごころの栽培基準等あればうれしいです。	「はれごころ」の栽培基準は、鳥取県産米改良協会発行の「令和7年度 水稻・大豆・小豆栽培指導指針」に掲載されています。また、農協が発行されている暦がある場合はそちらを参考に栽培して頂ければ良いと思います。もし、暦に「はれごころ」が掲載されていない場合は、各農協、普及所へ問い合わせただくか「サチユタカ」の栽培方法を参考に栽培して頂ければ良いと思います。ただし、熟期が「サチユタカ」と比べて遅くなりますの作付を計画する場合にはご配慮ください。
	②	サチユタカは莢がはじけやすく、大豆の荷受け開始のときには、大豆がはじけて落ちてしまっている。ぜひはれごころにシフトしていきたい。鳥取県で栽培するものは早い品種と、はれごころの2品種に絞ってもよいのではないか。JAも施設で管理しやすくなる。	ご意見ありがとうございます。「はれごころ」は、莢がはじけにくい特性がありますので、現在お困りの点は改善できると思います。品種転換については、まず「タマホマレ」で行っていく予定ですが、「サチユタカ」についても作期分散等の点から品種転換を行っていきたいと考えています。将来の品種構成については、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。
	③	はれごころは粒が大小不揃いはないか？	これまでの栽培試験結果から、不揃いで問題となったことはありませんでした。
その他	①	きぬむすめより晩生の品種開発を要望する声が現場である(作業分散のため)。	より現場の実情に合った育種目標・選定目標を現在策定中です。ご要望の熟期に沿った有望系統がありましたら、今後紹介させていただければと思います。
	②	米づくりと農試発表の間に休けいがほしい。	ご指摘いただきありがとうございます。運営は、鳥取県産米改良協会と連携して行っておりますので、ご指摘いただいた内容を共有し、次回の研修会や報告会に活かして参ります。
	③	星空舞の県認証の特裁米登録は可能か。	星空舞において、鳥取県特別栽培農産物認証制度を利用することは可能です。
	④	近年大豆があまりとれない、原因として温暖化や開花時期水不足が考えられるがなにか良い方法はあるか。	質問された背景には近年の気温上昇による影響を懸念されていると推察しますが、適期播種、排水対策など基本的な技術をまずは実施してください。また、開花期から莢伸長期にかけての極度の水分不足は、着莢数の減少や子実肥大不良の主要因となり、青立ちにも強く関与していると思われるため、実施可能なほ場では、ポンプアップ等による開花期かん水を検討してください。なお、かん水要否の判定「令和7年度 水稻・大豆・小豆栽培指導指針」（鳥取県産米改良協会）などに記載がありますが、判断に困った際はご相談ください。
	⑤	技術伝承する後継者の確保が問題。	後継者確保については多くの農家が直面している問題と思います。報告会で発表した技術伝承に関する内容を参考にいただき、内容についてご不明な点などありましたら、ご相談ください。
	⑥	乾田直播における除草体系。	乾田直播栽培ではイネの播種前からヒエが生えてくるので、まずは最初のヒエの防除がポイントになります。播種したイネの芽が地上に出る直前（5月上旬播種なら1～2週間後が目安）に、ラウンドアップなどでヒエを枯らしめます。その後もヒエの発生は続くので、ヒエがあまり大きくならないうちにクリンチャーパスME液剤などを散布する必要があります。
	⑦	大豆、帰化アサガオ対策(アタックショットがなくなって体系防除が難しくなった)。	帰化アサガオは蔓延すると防除が非常に困難なので、見つけ次第適切に除去して、種子を作らせないことが重要です。ドローンを使ってアサガオを早期に発見する方法を開発していますので、参考にいただければと思います。
	⑧	アンケートの回答選択肢について、「良かった」と「ちょうど良かった」の区別がわかりにくかった。	ご指摘いただきありがとうございます。回答しやすい選択肢となるように次回検討していきます。